日進ホールディングスグループからのご寄附に対し感謝状を贈呈しました

令和８年１０月２３日、琉球大学病院において、日進ホールディンググループ様から琉球大学病院への寄附金贈呈式を執り行いました。

式典では、初めに出席者の紹介が行われ、続いて寄附者である、日進ホールディングスグループの株式会社楽ラック代表取締役の津嘉山房代様から、ご挨拶をいただきました。

津嘉山様から、「沖縄県民の皆様にお役に立てる寄附としたいと思いました。医療は住んでいる地域や都道府県に関係なく、誰もが必要とする大切なものです。沖縄県民の皆様を始め、多くの方々がその恩恵を受けられるよう、また、沖縄県の医療の更なる発展と充実に力を尽くしていただきたく、今回琉球大学病院へ寄附をすることとしました。この寄附により、沖縄の医療の未来を支え、より多くの役にたてることを心より祈っております。」との挨拶をいただきました。

次に、株式会社日清ホールディングスの津嘉山貞夫代表取締役から、寄附金の目録が、鈴木幹男琉球大学病院長へ手渡されました。

その後、鈴木病院長から、津嘉山ご夫妻へ感謝状と記念品が手渡されました。



【津嘉山代表取締役から鈴木病院長へ
寄附金の目録が手渡される】



【左側：鈴木病院長、中央：津嘉山貞夫代表取締役
右側：津嘉山房代代表取締役」

続いて、鈴木病院長及び本院形成外科の清水雄介科長から、御礼の挨拶が述べられました。

鈴木病院長は、「本院は、特定機能として地域の医療機関と力を合わせ県民の皆様の命と健康を守り地域医療の最後の砦としての責任務を果たすことが使命である一方、昨今の物価や人件費の上昇により医療機関の経営を取り巻く環境は厳しさが続いています。このような中でのご支援は本院の使命を果たしていくうえで大きな力となり、日々医療の現場で力を尽くす職員にとっても温かい励ましとなるものです。頂いたご寄附は皆様のお気持ちを大切に受け止め、診療、教育、研究の一層の充実のために活用させていただきます。そしてその志を患者様へのより良い医療の提供と沖縄の医療を担う人材の育成につなげていけるよう職員の力を尽くしてまいります。」と感謝の挨拶がありました。

清水形成外科長からは、「琉球大学病院は、沖縄県全体から患者さんが集まります。約 2,000 名の従業員が昼夜問わず頑張っており、今回のご寄附により、患者さんへのより良い医療提供や職員の働きやすい環境を整備することができます。津嘉山ご夫妻からは、「日進ホールディングスグループのような形

で琉球大学病院に寄附をすることを目指してくれる企業が増えることを期待している。」とのお言葉をいただいており、大変心強く、感謝いたします。ご寄附を有効に活用し、沖縄県民の皆様へのより良い医療の提供に向け、琉球大学病院を発展させてまいります。改めて、津嘉山ご夫妻、そしてモレロ先生に感謝したいと思います。」と感謝の思いが述べられました。

最後に、関係者による記念撮影が行われ、式典は終了しました。

今回、日進ホールディングスグループ様からは、１億円のご寄附を頂きました。琉球大学病院は、日清ホールディングスグループ様のお気持ちを大切に受け止め、頂いたご寄附について、診療、教育、研究の一層の充実のために活用させていただきます。



【関係者による記念撮影：左から清水雄介形成外科長、鈴木幹男病院長、津嘉山貞夫代表取締役、津嘉山房代代表取締役、モレロオースティン誠 MS 美容外科院長】